



困っている人がいたら みんなで支える地域でありたい



らくやま いさお
楽山 勲さん (67歳)

奥州市水沢在住

町スノーバスターズ会長。北海道豊頃町出身で関東自動車工業(株)への就職を機に神奈川県へ。1993年、同社の岩手工場操業開始とともに岩手県へ移住。2020年4月にトヨタ自動車東日本(株)を退職し同年7月に町移住コーディネーター就任。趣味はゴルフ。妻と2人暮らし。

転機は2011年の東日本大震災。家が流れる映像がテレビに映し出され、ただただ驚くばかりだった。何かできることはないか、その感情が体を動かし、翌日には会社の工場長と話し、その足で盛岡の社会福祉協議会へボランティアの相談へ向かった。

これまでの仕事やライフワークで得た企業や団体との広い人脈もあり、すぐに会社の車に支援物資を積み込み無我夢中で被災地へ。「当事者でないからこそ動くことができる。被害のあった人は本当に大変で動くことも辛い」と話す勲さん。震災がきっかけで、これまで以上に地域へのボランティアにも積極的に参加するようになった。

会社員時代から大事にしていることは、人と地域のコミュニティには助け合いが必要だということ。職場の仲間を募り、町スノーバスターズの活動にも積極的に参加。雪かきは大変でも、帰る時に「ありがとう」と見えなくなるまで手を振ってくれるのを見ると、「やって良かった。困り事を一つ解決できたのかな」と思うという。

町の移住コーディネーターも務める勲さん。県内外の移住相談会のほか、企業への訪問やアパートへのポスティングも行い、町への移住定住を支援している。「金ヶ崎は自然豊かで買い物にも困らないまち」、一人でも多くの人が金ヶ崎の魅力を感じてもらえるよう活動に励む。

広報日記



今月は「雪」に関連したイベントや活動を掲載させていただきました。1月22日のスノーフェスティバルでは、農大のグラウンドで元気に雪遊びをする子どもたちが印象的でした。雪だるま作りや雪上サッカー、雪合戦：どれも楽しそうに思わず参加したくなるのを我慢しました。ところで、寒い中食べる温かい食べ物は格別においしく感じますよね。皆さんおすすめのグルメは何ですか。(村口)

人口と世帯

1月31日現在

※()内は前月比

人口	15,202人	(-38)
男	7,816人	(-14)
女	7,386人	(-24)
世帯数	6,260世帯	(-8)



町公式 LINE
情報発信中